

令和7年度 青梅市立今井小学校 自己評価シート(報告書)

自己評価集計

教育目標	1 思いやりのある子 2 自ら学び考える子 3 心身ともに健康な子
------	---

目指す子供像	1 たくましさと優しさを持ち、誰かのために行動できる子供 2 学習を自ら計画し、振り返り、仲間と共に高め合うことができる子供 3 健康的な生活習慣を獲得するとともに、困ったときに誰かに相談できる子供
--------	---

目指す教師像	1 授業力や専門性を向上させようと意欲あふれる教師 2 子供一人一人に寄り添い、優しさと厳しさを併せもつ教師 3 自身のライフワークバランスを考慮し、やりがいをもって働く教師
--------	---

中・長期目標	1【豊かな心】人権尊重教育の推進。いじめの防止。集団の中での活動を通して他者の気持ちを想像し行動できる子供の育成 2【学力向上】単元を通して子供が身に付ける資質・能力を明らかにした学習展開。ICT活用による個別最適化と協働的な学習の推進。子供が自ら計画して実行する家庭学習。 3【心身の健康】日常的に運動に親む態度の育成。教育相談機能の向上と子供がいつでも相談できる環境の整備。より良いメディアとの関わり方を考えることのできる児童の育成 4【家庭・地域との連携・協力】充実した広報活動と開かれた学校づくり。地域・保護者との協働的な学習。「霞川学習」の推進 5【教師の働き方の改革】児童とかかわる時間、授業準備の時間を確保し、教育の質の向上のための働き方改革の推進。
--------	--

達成度	4 ほぼ達成	A	85%以上
	3 おおむね達成	B	70%以上
	2 変化の兆し	C	60%以上
	1 不十分	D	60%未満

項目	重点項目	昨年度までの現状と課題	目標	番号	重点評価項目	達成度		最終評価	評価方法	実践・考察及び次年度への課題と改善策
						自己	関係者			
豊かな心の育成	挨拶の励行	児童アンケートの結果でも、97%の児童が挨拶に関しては肯定的な回答をしている。また、代表委員会が年3回実施したあいさつ運動でも、児童同士が元気に笑顔で挨拶をしている様子が見られることができた。すすんで挨拶をすることが課題として残る。	取組目標	1A	すすんで挨拶ができるように指導を重ね、児童の主体的な取り組みの計画を立て実践する。職員が率先垂範する。			教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85%)以上の肯定的評価		
			成果目標	1B	児童が場や状況に合わせて、すすんで挨拶をしている。					
	いじめの防止	児童のアンケート結果では、学校への取組の評価が98%、自身もいじめに関わっていないという回答が95%と高い数値となった。いじめゼロを目指しながらも、いじめが起きた場合には早期解決ができる組織づくりをすすめていく。	取組目標	2A	重大ないじめの未然防止のため、職員で協力し組織として早期発見・早期対応に努める。全教育活動を通して人権意識を高める。					教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85%)以上の肯定的評価
			成果目標	2B	児童が思いやりの気持ちをもち、自他共に大切にしようとしている。					
	高める自尊感情を特別活動	目標やめあてを設定し、終了後に振り返るという活動を重視した。91%の児童が行事や活動を通して成長を実感しているというアンケート結果だった。児童が主体となって活動する場面は増えてきた。どのようなことが自分たちでできるのかという経験を今後も積み重ねていく。	取組目標	3A	委員会、クラブ活動、なかよし班活動等において、児童が主体となって運営する活動を計画し支援する。					教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85%)以上の肯定的評価
			成果目標	3B	児童が特別活動で自分の役割を意識したり、仲良く活動したりしている。					
学力向上	資質・能力を確実に	児童アンケートでは、85%の児童が自身の学力の向上を肯定的にとらえている。一方、教職員は53%が変化の兆しはあるが不十分な部分があるとしている。中学校での学びへの接続を意識し、必要な学習内容の定着のための取組を推進していく。	取組目標	4A	単元を通して身に付ける子供の資質・能力を明らかにし、週案に記載するなど意図的・計画的に指導と評価の一体化を図る。読解力を伸ばすための取り組みを充実させる。			教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85%)以上の肯定的評価		
			成果目標	4B	8割以上の子供が、評価規準に達し、単元の形成的評価において平均75%達成している。児童が文章を正確に読み取り教科書を一人で読み、理解できるようになっている。					
	ICTの活用	児童アンケートでは95%の児童が活用に対して肯定的な回答をしている。しかし、学級によつての活用状況の差は見られる。今後は、どの学級でも効果的な活用ができるようにしていく。	取組目標	5A	ICTを活用した「伝え合う活動」「振り返り活動」を重視した授業改善に努める。また、デジタルドリルを活用し、学習内容の習熟を図る。			教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85%)以上の肯定的評価		
			成果目標	5B	週に3回以上はICT機器を学習用具として使い、自身の学習を整理したり、深めたりしている。					
	家庭学習の習慣化	「自ら学ぶ」家庭学習への意識改革をめざして取り組んできた。目標をもって計画的に今自分に必要な学習ができる児童は多くはない。児童が自分で計画し自ら学ぶことのできるよう家庭学習の充実を図っていく。	取組目標	6A	家庭学習頑張り週間、家庭学習の手引きの活用を促す等家庭学習の時間を確保できるように児童や家庭に啓発する。長期休業中などにICTを活用し家庭学習との連携を図る。			教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85%)以上の肯定的評価		
			成果目標	6B	児童の家庭学習の取り組みが100%となり、家庭学習が習慣化している。児童が自己の課題をつかみ、その解決のために主体的に家庭学習に取り組んでいる。					

健康な身体	体育的 実活動の	「なわとび週間」「マラソン週間」では、自ら目標をもちそれに向かって意欲的に取り組む姿が見られた。体力調査の結果としては、持久力や俊敏性、投げの力が、全国平均よりも低い傾向がある。日常的な活動の中で向上を図っていく。	取組目標	7A	体力向上のために体育の授業を工夫し、休み時間や放課後に運動に親しむ児童の育成を図る。				教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85)%以上の肯定的評価	
			成果目標	7B	体力テストで、都の平均値をほぼ達成できている。または、休み時間に外遊びをする児童が増えている。					
	生活習慣の 見直し	今井小の児童はテレビやYouTubeの視聴時間、ゲームで遊ぶ時間が他校と比較して長いことがアンケートから分かっている。これからも安全で健全な児童とメディアとの付き合い方を学校から家庭に継続して啓発していく。	取組目標	8A	健康的な生活習慣の確立を目指した指導を行う。SNS東京ノート等を活用するとともに、メディアとの付き合い方を意識させる。				教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85)%以上の肯定的評価	
			成果目標	8B	今井小SNSルールや家庭での約束を意識した生活ができている。デジタルメディア等を使用する時間を減らすことを意識している。					
地域・家庭との連携	地域や保護者と協働する活動	「霞川学習」では地域の方、保護者の方に多大なるご協力をいただいた。さらにPTAのサポーター制度を活用を上げ活動のサポートをしていただき、今井小の特色ある教育に参加していただきたい。	取組目標	9A	面談、HP、学校公開、保護者会等で児童の様子を積極的に伝える。保護者と協働する活動を年に1回以上取り組む。				教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85)%以上の肯定的評価	
			成果目標	9B	学校の情報が適切に伝わり、保護者が教育活動に関心を寄せ、学校と協働している。					
教師の働き方の改革	児童とかかわる時間の創造	教職員の平均定時外勤務時間が30時間を下回り、働き方改革への取組に向けた成果が出ている。更なる改善を図り教師と子供たちがかかわる時間と授業準備の時間を生み出すことができるようにする。	取組目標	10A	会議の効率化、ペーパーレス化、伝達事項のオンライン化を推進し、児童とかかわる時間と授業準備の時間を生み出すように努める。				教員の取り組みの記録 児童の行動観察、行動・学習の記録 児童アンケート、関係者アンケートの関連項目から(85)%以上の肯定的評価	教師が児童と元気に明るく接し、充実した教育活動を行うためには、教師の心身の健康が第一と考える。教師の時間的余裕や心理的余裕を確保し、より児童と関わり、児童を理解し、児童に寄り添うことができるように可能な範囲での改革を進めてきた。働き方改革は永遠に道半ばと考え、より教育の質の向上を目指していく。
			成果目標	10B	児童の教師とかかわる時間が増え、共に活動したり、相談に乗ったりしている。					